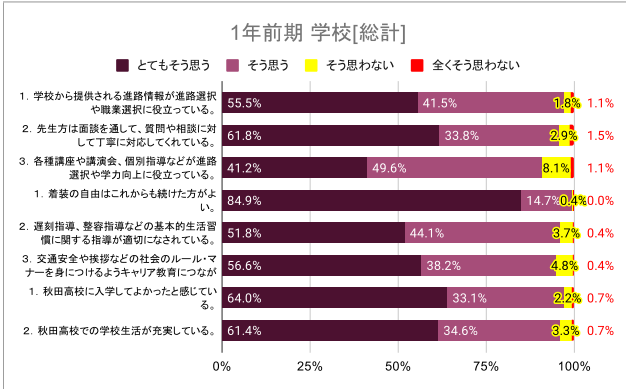
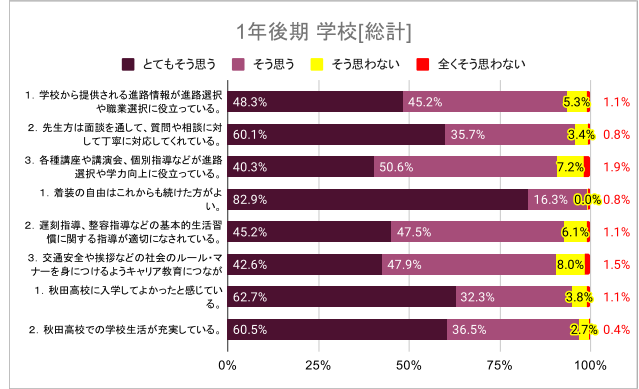


# R3生徒アンケート結果

## ○1年[前期]

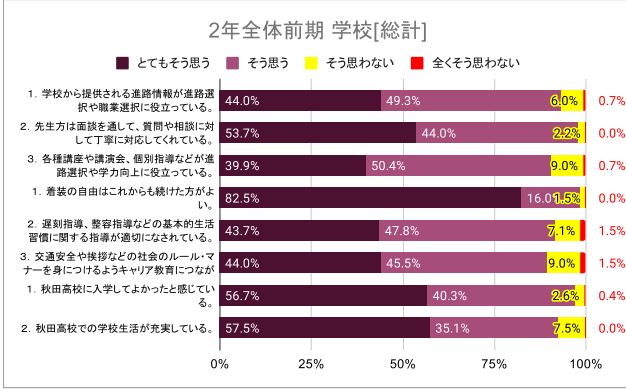


## ○1年[後期]

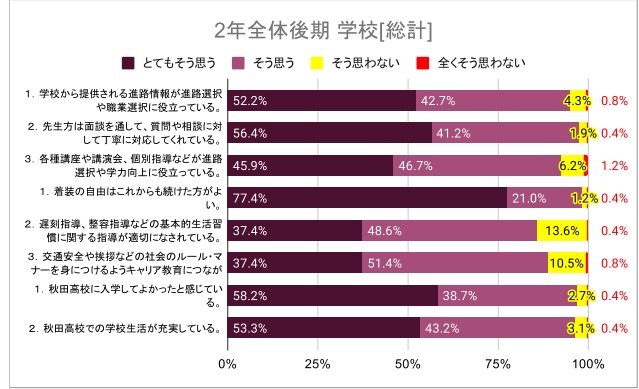


1年生では、各項目とも概ね肯定的な評価である。ただ、前期・後期の変化を比較すると、過半数を超える項目で「そう思わない・全くそう思わない」の割合が増加している。特に「学校から提供される進路情報が進路選択や職業選択に役立っている」においてその割合は 2.21倍と大きく増加している。人数は前期8人、後期17人である。

## ○2年[前期]

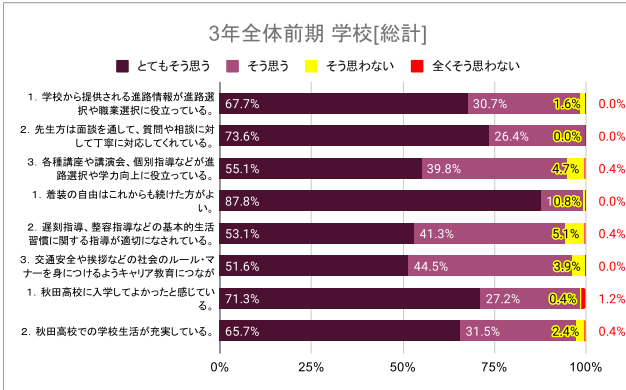


## ○2年[後期]

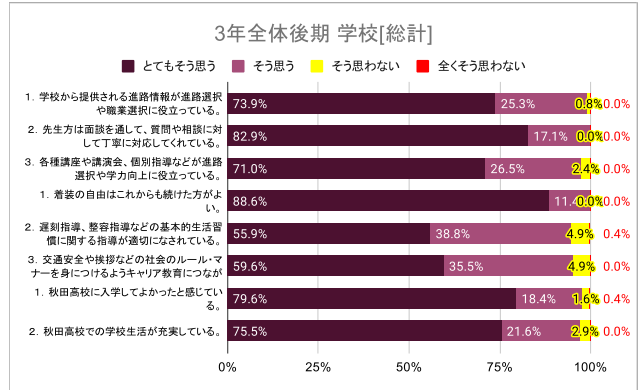


2年生では各項目とも概ね肯定的な評価である。前期・後期の変化を比較するとほとんどの項目で「そう思わない・全くそう思わない」の割合は、増減がほとんど見られない、もしくは微減程度であった。しかし、「遅刻指導、整容指導などの基本的な生活習慣に関する指導が適切にされている」という項目のみ、その割合は 1.63倍と大きく増加している。人数は前期23人、後期36人と、決して少ない数ではない。

## ○3年[前期]



## ○3年[後期]



3年生では、前期・後期ともにほとんどの項目で、他学年より「とてもそう思う」の評価が高い。特に後期は、すべての項目で「とてもそう思う」の割合が他学年より高い。割合について他学年との差が最も大きい項目は「各種講座や講演会 ...」で+30.7ポイントである。前期・後期の変化を比較すると、ほとんどの項目で「そう思わない・全くそう思わない」の割合は微減もしくは微増であった。人数としては 1~2人の変化である。